

令和7年6月

品質システム文書の改正について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、本協会品質認証業務に種々ご協力賜り厚く御礼申し上げます。
さて、今般、品質システム文書の改正を行いましたので、下記のとおりお知らせします。
また、改正した品質システム文書は、下記施行日より本協会品質認証センターホームページに掲載しております。

記

1 改正文書

- ・品質認証業務規則(JWWA-H106)
 - ・認証に係る費用規則(JWWA-H108)
 - ・特別基準の検査方法及び試験方法
JWWA G 119 水道用波状ステンレス鋼管(JWWA-H703)
 - ・特別基準の検査方法及び試験方法
JWWA B 140 水道用ステンレス製ボール止水栓(JWWA-H709)
- ※本協会品質認証センターホームページ「認証の規則類」掲載分

2 施行日

- ・品質認証業務規則(JWWA-H106)：2025年6月10日
- ・認証に係る費用規則(JWWA-H108)：2025年6月10日
- ・特別基準の試験方法：2025年5月29日（規格改正日）

3 改正箇所

別添の「品質システム文書の主な改正箇所」をご参照ください。

4 改正文書の掲載箇所

品質認証センターホームページ(<http://www.jwwa.or.jp/center>)

※ホームページ上部のタグ「認証の規則類」からメニューより、表内の各文書を選択してください。

担当：品質認証センター認証課

TEL：03-3264-2711

E-mail:ninshou@jwwa.or.jp

2025年度品質システム文書の改正 主な改正箇所

文書番号	文書名	改正内容
JWWA-H106	品質認証業務規則	<p>(p. 42/56) JWWA規格で、試験方法のみで性能基準が無い「JWWA K 111水道用ベントナイト」を附属書 5 特別基準(資機材等及び薬品等の種類及び符号)から削除した。</p> <p>(p. 50/56) 前回の認証制度運営委員会にて、附属書 3 2 特別基準の種類及び符号から「JWWA K 141水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング 鋼管用管端防食形継手」を削除したが、附属書 6 特別基準 区分の方法に同規格の記載が残っていたため削除した。</p>
JWWA-H108	認証に係る費用規則	<p>(p.5/20)(p.8/20)</p> <p>1) 第3条(費用の算定)第1項8号 抜取検査手数料 最低保証検査手数料の金額を削除し、別表1の最低保証検査手数料によることとした。</p> <p>2) 別表1 費用規則第3条に規定する費用等 最低保証検査手数料の金額を日本水道協会水道用品検査手数料等に関する規則によることとした。</p> <p>《適用金額》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年7月検査分まで：24,000円 ・2025年8月検査分より：24,000円→27,000円 ・2026年4月検査分より：27,000円→30,000円 <p>上記のとおり段階的に30,000円(税抜)に値上げする。</p>
JWWA-H703	特別基準の検査方法 JWWA G 119 水道用波状ステンレス鋼管	<p>以下のJWWA B 140の改正に合わせて変更した。</p> <p>(p.3/7) 耐圧性 他のJWWA規格と整合を図り、耐圧試験における保持時間が2分から1分以上に変更した。</p> <p>(p.3/7) 硬さ検査 引用JIS規格(JIS Z 2244)には試験力が複数規定されており、この製品で現在使用されている試験力 9.807N(HV1)に変更した。 また、硬さ試験は立会で実施していたものを試験成績書の確認で良いこととした。</p>
JWWA-H709	特別基準の検査方法 JWWA B 140 水道用ステンレス製ボール止水栓	<p>(p.3/5) 材料 材料を確認する部品を規定していたが、JWWA B 140の8(材料)によることとした。</p> <p>(p.3/5) 耐圧検査 JWWA B 140の受渡検査に、空気圧による試験方法が規定されているが、空気圧では、漏れ・にじみ以外の変形、破損、その他の異常が確認できないため、空気圧試験方法を削除した。</p> <p>(p.4/5) 構造、形状及び寸法検査 JWWA B 140の改正に合わせて、測定器具のJIS規格番号、文言を修正した。 JIS B 2052:1996 メートル細目ねじ用限界ゲージ → JIS B 2051 メートルねじ用限界ゲージ</p> <p>その他、文言の変更を行った。</p>